

11月18日(水)にウォークラリーがありました。新型コロナウイルスの影響で1学期に実施できませんでしたが、赤組・黄組・青組と時間を分けることで、密を避け、実施することができました。

ウォークラリー当日、6年生は班長となり、1年生から6年生までの班員をまとめることができました。低学年の児童に丁寧に遊び方を説明する6年生や、自ら積極的に遊んで楽しい雰囲気作りをする6年生、班員の頑張りに拍手を送る6年生など、132人それぞれのやり方でウォークラリーを盛り上げてくれました。



ウォークラリーを企画した児童会役員は、1か月以上前から準備をしていました。

「コロナがあるから、全校児童は集まらないね。どのように分けようか。」

「遊びは何にする？今までのウォークラリーと同じにはできないよね。」

「やっぱり、ウォークラリーは特に低学年に楽しんでほしいな。」

大休憩・昼休憩を問わず、学校全体に『ハッピー』があふれるよう一生懸命遊びやルールを考えました。

～児童会役員の感想（一部抜粋）～

- ・今回初めてウォークラリーを開催する立場になって、初めてウォークラリーを開催する大変さを知りました。1ヶ月以上も前から準備していたから、上手く行ってよかったです。
- ・遊びを決めたり、問題を決めたり、ルールを決めたりすることをがんばりました。特にルールは実際に遊びをやってみて確認しました。
- ・自分たちが考えた遊びを、全校児童に遊んでもらって、実際に楽しんでくれたことがうれしかったです。



「駅家小学校のリーダー」として、活動することができた1日でした。新型コロナウイルスの影響で、活躍の場が大きく減ってしまいましたが、このウォークラリーの経験を糧に、残りの小学校生活、様々な場面でリーダーとして活躍してほしいと思います。